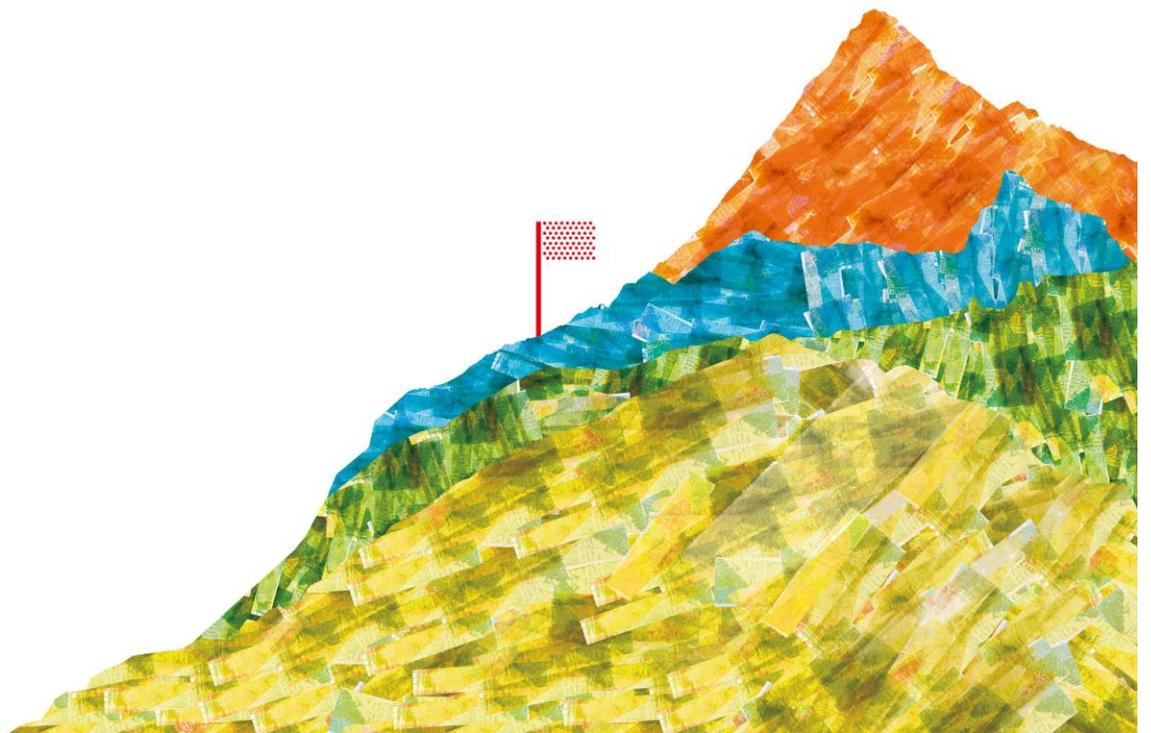


令和5年度 事業報告書

(北東京エリア)



社会福祉法人 こうほうえん

令和5年度事業報告書（北東京 エリア）

1 令和5年度総括（成果、反省等を簡単に）

- 1) 特養、目標であった稼働率 98.42%は達成できず、95.7%の結果となる。昨年同様、感染症による体調不良者があり、新規調整に苦戦をする1年間であった。収益に関しては、安定しており、予算を越える収益が2月時点で見込まれている。また、この1年間虐待予防に関して研修や取り組みに力を入れており、職員の意識が大きく上がっている事が、昨年より実施している虐待の芽チェックリストの結果に表れている。(15.6%⇒9.9%減)引き続き業務改善に努め、稼働率が安定する様に体制を整えていく事が求められる。
- 2) デイ: 季節湯やイベント、利用者のやりがい醸成の取り組みが定着、チラシ配布・直接営業・インスタグラムの効果もあり、ご利用者・居宅事業所に楽しいデイサービスとして認知してもらうことができた。人員不足の時期もあったが、職員の稼働・収益への意識を高め稼働率は目標 75%には届かないまでも 71.9%と前年度比 2.0 ポイント増となった。しかし、要支援者数の増加により稼働率に比例した収益を得られず。更に非常勤の介護士・看護師を雇用したことで人件費率が 67%（2月現在）の結果となった。
- 3) ショート: 安定した需要や緊急受け入れにも柔軟に対応、特養空床も活用し稼働率は 93.4%と目標の 89.5%を上回り、前年度比 8.3P 増となった。人件費は人員不足により 9か月間派遣 1名、夜勤専従派遣 1名雇用したことで増大。また、度重なる職員の欠勤（怪我・病気等）により超過勤務の大幅削減には至らず、人件比率 69.4%と年度目標 5.3P 上回る結果（2月現在）となった。
- 4) 就労支援: 原材料高騰が続き多くのパン屋が閉店するなか、収支を上げる事が出来た。念願であった施設外就労の契約に至った。外部注文で企業や学校等からのランチやパーティーのケータリングのニーズが増え、新しい形態の販売に対応し売り上げを伸ばした。

2 トピックス（新規事業、重点実施事業等（独自で実施している地域貢献活動含む）

- 1) ヘルスタウンうきま: 4年振りとなる「うきま幸朋苑祭り」を開催。「苑」を知ってもらう事を目的に飲食無料、半額を実施。千人以上の集客あり。
- 1) 特養:
 - ・ 職員の多様な働き方を進めるべく、週4日勤務のトライアルを実施する。事前に職員へ説明、アンケートを取り、希望があった3名の職員へ試行する。公休が増える事によりプライベートが充実する反面、勤務時間が延びる事での疲労感が出る結果となる。勤務形態を選べる事は職員にとってプラス要素である為、法人としての導入に期待する。
 - ・ 法人研究発表で2年連続優秀賞を受賞。加えて、奨励賞も受賞する。
- 2) デイ: カラーコーディネーターの資格を取得し毎月のポスター作りに活かし集客につなげた。Instagramを開設し日々の活動をアップした。美容学校の自習先として生徒を受け入れ、利用者サービスへと転換した。
- 3) ショート: 北区主導の避難的緊急受け入れを積極的に行い在宅生活困難者救済に寄与した。

サービス担当者会議をリモート開催とし、効率化を図った。DS/SS の計画書を一本化し事業所間の情報共有と業務量の削減に繋がった。

- 4) 就労支援：給食がない学校の長期休みに食に困る子どもが多いとのニュースをうけ、長期休み毎日子ども食堂を実施した。今年度はNPO スマイルリンクが協賛し、日用品の配布も行った。特別支援学級 2 校各 30 名程度の児童向けにドックパン作りの職場体験と父兄向けの説明会を実施した。

3 エリア目標の達成度合とその評価（戦略会議の資料等）

特養：目標稼働率 98.42%に対し、年間平均稼働率は 95.7%（前年度比▲1.7P）であった。昨年同様、感染症の影響は見られていたが、今年度は持病・転倒事故による長期入院が数件みられ、稼働率が安定しない結果となった。入院日数 861 日（前年より 184 日増）

収益に見合った人件費と、バランスが取れた経営が実践出来た影響により収益は大きく増。

2 月現在、人件費率 62.5% サービス活動増減差額 4000 万余。

デイ：目標稼働率 75.0%に対し 71.9%であった。一定数の新規を獲得し登録者は 10 名ほど増えたが、要支援者が多く一日の登録者数が伸びなかったこと、SS 利用・入院等の理由で 1 日平均の休みが 5.6 人あったことが要因。また、職員数を増やす中、支援者が増え収益は微増の結果となった。

2 月現在サービス活動増減差額 250 万余。

ショート：目標稼働率 89.5%に対しが 93.4%であった。上回った要因は、リピーター客を丁寧に受け入れたことやケアマネジャーからの緊急的な要請に真摯に対応したことが、年間を通した安定的な稼働に繋がった。職員退職もゼロに抑えたものの継続的な人員不足のため派遣の雇用し人件費増が収益に影響した。サービス活動増減差額 580 万余。

就労支援：新商品やケータリングなどの新しい形態での販売を実施した。一方フレンズの一般就労については希望者が出なかった。インスタフォロワー数目標 1500 だったが、3 月で 1600 と目標より 100 人多く達成できた。地域の方が主催するワークショップも毎月 4~5 回実施する事ができた。ピラティス教室では毎月 20 名近くの方が参加した。

4 入所系事業所（デイハウスは登録人数）の稼働率の推移（稼働率：小数点第 1 位）

事業所名	定員(人)	令和 5 年度(%)	令和 4 年度(%)	令和 3 年度(%)
介護老人福祉施設 うきま幸朋苑	1 1 5	95.7	94.0%	97.2%
短期入所生活介護 うきま幸朋苑	1 9	93.4	69.8%	68.5%
デイサービスセンター うきま幸朋苑	3 0	71.9	84.5%	102.5%
ブレッド&バター	1 2	104.0	100.0%	-

5 各エリアの取り組み実績

<p>年間行事一覧</p>	<p>[4月] 花見、蒸しパン作り [5月] [6月] 肉まん作り [7月] 七夕行事 [8月] スイカ割り、縁日、花火鑑賞会、 [9月] 長寿を祝う会 [10月] 運動会、 [11月] たこやきパーティー、 [12月] クリスマス会、忘年会 [1月] 初詣、新年会、餅つき、 [2月] 節分鬼退治 [3月] ひな祭り、花見、 [就労支援] 暑気払い、新年会、バスハイク</p>
<p>BCP 等訓練実施状況</p>	<p>夜間想定避難訓練・感染症机上訓練</p>
<p>エリア内研修状況</p>	<p>新人研修、中途採用者研修、4,5年目研修、リーダー層研修、新卒フォローアップ研修、エルダーフォローアップ研修、アンガーマネジメント研修、アサーション研修、メンタル研修、コンプライアンス研修、排泄ケア研修、食中毒研修、認知症研修、看取りケア研修、窒息防止研修、ユマニチュード研修、介護職員身体拘束適正化研修、感染症研修、介護技術研修、リフト操作、虐待防止研修、嘔吐物処理研修、AJCC、ユニットリーダー研修、安全衛生研修、平穏死講演会、労働基準研修、ICT 機器研修、安全運転研修、技能実習生日本語学習、勤怠システム研修、人事考課研修、省エネ研修、人材育成セミナー、法令遵守研修、財務諸表の見方、リフト研修、LIFE 意義と必要性研修、介護報酬研修、リハプラン研修、リスクマネジメント研修</p>
<p>エリア内会議、委員会活動</p>	<p>介護戦略会議、エリア戦略会議、健康戦略会議、苦情解決第三者委員会、身体拘束適正化委員会、虐待防止委員会、介護主任会議、ユニットリーダー会議、エルダー会、L I F E 委員会、リスク部会、排泄部会、褥瘡部会、感染部会、給食委員会、公益的事業定例会議、</p>
<p>委員会活動等の成果・実績・反省</p>	<p>委員会の会議時間を短縮設定。会議・委員会・部会前に議事録を発信し、事前入力を行う。会は論議を中心に実施し、時間内に終了する様に改善する。 リスク部会に関しては、今までの一般職員によるメンバー構成</p>

	<p>では発信力が弱い傾向にあった為、ユニットリーダー会に統合し、ユニットリーダーが中心となって活動していくものに変更する。いろんなこと報告書の内容についても要因分析の項目分けを出来るように書式の変更を実施。防げる事故として要因に上がっている物に関して再発防止策をしっかりと立てて行くように今取り組んでいく。</p> <p>身体拘束適正化委員会・虐待防止委員会も介護・保育・障害を統合し、年4回の頻度で開催する。メンバー構成が管理者となり、現場目線での話し合いの場が無く、現場へのフィードバックが少ないことから、来年度からは各事業所単位で実施する形式に戻し、各分野の規程に沿って開催していく事とする。</p>
--	--

6 人財状況

外部研修等講師派遣実績	該当なし
外部役職就任状況	該当なし
外部表彰受賞状況	該当なし

7 地域貢献実績（保育園含む）

<p>実習受け入れ実績 延人数 262人</p>	<p>高崎福祉医療カレッジ、東京通信大学、十文字学園、昭和女子大学、淑徳短大、東京家政大学、恵泉女子大学、帝京大学(看護)、東洋大学、浮間中学校、リタリコ就労移行、王子特別支援学校、板橋特別支援学校、東京教育専門学校、こども教育宝仙大学、有明教育芸術短期大学、明星大学、東京福祉大学</p>
<p>ボランティア受け入れ実績 延人数 506人</p>	<p>スターフェスティバル(楽器演奏)、未来プロジェクト(美容)、帝京大学、創価大学、目白大学、桜が丘高校、桐ヶ丘高校、暁寿会(踊り)、似顔絵サークル、eha-ohana(フラダンス)、手品クラブ、フレアス在宅マッサージ(体操)、近隣住民(傾聴・将棋・制作)・はいどん(ギター)、赤羽警察、詩吟普及協会、大正ロマン(歌)、おとあそびコンサート(洗足学園音楽大学)、おはなしチャチャ</p>
<p>見学受け入れ実績 実人数 319人</p>	<p>ご利用者、ご家族、居宅介護支援専門員、入所(利用)希望者、実習希望者、民生委員、(株)リタリコ、北区施設長会、王子特別支援学校、板橋特別支援学校、豊島区仕事相談センター、個別対応入園希望者、北区民生委員</p>

地域交流活動実績 1 実施回数 5 6 回 延人数 1, 7 4 0 人	(事業所内又はこうほうえんが主催した交流事業) こうほうえん祭り、花火鑑賞会、子ども食堂(13 回)、ピラティス(12 回)、ワークショップ (39 回)、わくフェス、ひきこもり支援
地域交流活動実績 2 実施回数 1 回 実人数 1 1 人	(地域の交流事業に利用者と共に参加したもの) 敬老会 人数 11 人
ボランティア・環境活動等の実参加者数 4 人	(ボランティア・環境活動等に 1 回でも参加した職員数) 地域商店街お祭り 2 人 地域夏祭り 2 人
ボランティア・環境活動参加実績 1 投入実人数 8 9 人	(清掃活動・消防団活動・地域防災活動等) ・地域清掃活動 開催回数 12 回、参加人数 89 名
ボランティア・環境活動参加実績 2 投入実人数 人	(見守り活動・学校活動の手伝い等)
地域発信活動実績 (介護、看護の日、イベント開催等)	実績なし
地域発信活動実績(認知症サポーター養成講座、地域包括支援センターのみの活動は除く)	回数、養成者数、資格者投入人数は、必ず記入してください。 ・子ども食堂事業「けんこうキッチン」 開催回数 12 回、参加述べ人数 325 名
地域発信活動実績 (講習会、講演会の主催及び参加等、地域包括支援センターのみの活動は除く)	実績なし

8 その他報告事項

事故の発生状況 (レベル3以上の事故)	こうほうえん事故レベル定義		年間件数
	レベル 3	事故の為、医療機関での継続的な治療が必要になった場合	20 件
	レベル 4	事故により、障がいが残った場合	1 件
	レベル 5	事故が死因となった場合	0 件
虐待及び身体拘束の	高齢者虐待防止法に定める「虐待の疑い」があると判断し、市町		

状況	村へ通報した事案はありませんでした		
感染症の集団発生状況(保健所報告分)	(報告日、収束日、感染者数を記載) 北区保健所報告(10名を超える集団感染)は発生しませんでした。		
ご意見	設備に関する苦情	職員に関する苦情	感謝のご意見
	0件	24件	0件



社会福祉法人 こうほうえん

令和6年6月12日

社会福祉法人こうほうえん

〒684-0063 鳥取県境港市誠道町 2083 番地

法人本部事務局

〒683-0853 鳥取県米子市両三柳 1400

TEL (0859) 24-3111 FAX (0859) 24-3111
